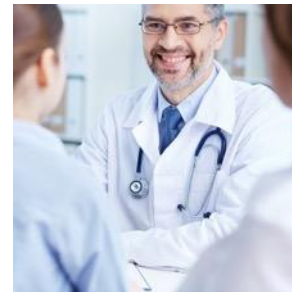


革新的医薬品のイノベーションの更なる評価



一般社団法人 欧州製薬団体連合会
EFPIA Japan
会長 ジョンポール・プリシーノ



製造投資の意思決定には、魅力的な国内市場が鍵であり、 政策環境やグローバル製造ネットワークにおける日本の位置づけも重要

製造投資への インセンティブ



- 投資に対する税制優遇
- 土地・施設・先端技術設備への補助金
- 先端製造技術への支援

市場の魅力度



- 市場規模・成長性
- イノベーションへの適切な評価
- 政策・市場の予見可能性

コスト・ 事業競争力



- 投資・操業コスト
- 人件費、エネルギー、物流コスト
- 専門人材の確保

グローバル製造 ネットワーク



- 戦略的な立地：日本市場への安定供給を確保
- 国内・グローバル市場へのアクセス

規制環境



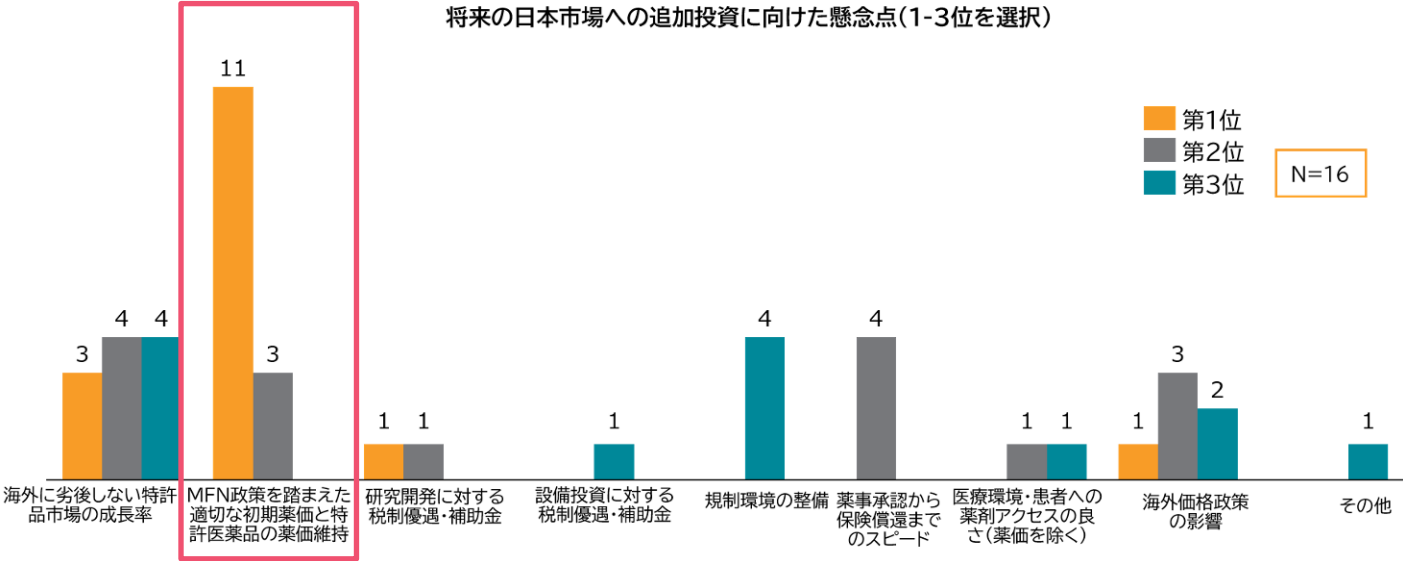
- グローバル基準との整合規制
- プロセスの効率化・承認期間の短縮

EFPIA Japanの調査では、適切な初期薬価設定や特許期間中の薬価維持の実現が、臨床試験・製造投資につながる可能性を示唆

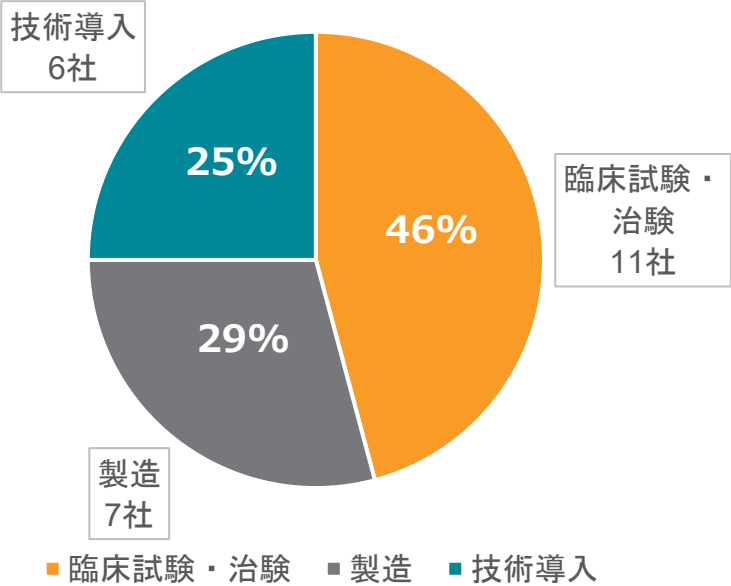
将来の投資懸念：薬価政策が最大の障壁

期待する制度変更が実現した場合 — 投資拡大の意向

n=14



N=16



注：仮定条件に対する投資意向。左右で回答社数が異なり、同じ企業の意向変化を示すものではありません。

出典：EFPIA Japan「創薬関連投資に関する調査」（2026年7月）

投資縮小・拡大の意向を示した企業数（16社）
※複数選択

EFPIA Japanは、革新的な医薬品の供給にとどまらず、創薬および製造への投資を通じて、日本の経済成長に貢献

EFPIA 加盟会社 投資事例



ヘルスケア課題解決に向けた
オープンイノベーション*1を促進



医薬品供給のリージョナルハブ設置；
約484億円*2
(山形県東根市)



国内の創薬研究拠点の集約；
約1,718億円*3
(神奈川県横浜市)



放射性リガンド療法生産力強化；
約150億円*4
(兵庫県丹波篠山市)



生産拠点工場への投資；
総投資金額60億円*5
(福島県郡山市)

*1: [i2.JP \(Innovation Infusion Japan\) | AstraZeneca 2022年10月18日 |](#)

*2: [ベリンガーインゲルハイム 日本を医薬品供給のリージョナルハブと位置付け、山形工場に3億ユーロを投資 | Boehringer Ingelheim JP](#)

*3: [中外製薬の新研究拠点「中外ライフサイエンスパーク横浜」竣工 | ニュースリリース | 中外製薬](#)

*4: [2025年11月発表時レート\(1ドル/150円\)ノバルティス ファーマ、放射性リガンド療法生産力強化のため、1 億ドル投資による篠山工場の製造施設拡張計画を発表 | Novartis Japan](#)

*5: [ノボ ノルディスク、日本の生産拠点、郡山工場に40億円 追加投資 過去数年間で総投資金額60億円](#)

世界水準に見合う市場成長、革新的医薬品の初期薬価と 特許期間中の薬価維持が投資の誘致、創薬力の強化、経済成長の実現に不可欠

主要先進諸国水準の 革新的医薬品の初期薬価設定^{*1}

外国平均価格調整の見直し

- ①最高価格除外ルールの廃止
- ②引上げの2倍上限ルールの廃止
- ③参照国が1か国の場合も価格引き上げの適用
- ④米FSS価格を参照価格として追加
- ⑤2番手以降の品目にも適用

^{*1}: GDP調整後

特許期間中の薬価維持

市場拡大再算定の凍結

費用対効果制度の凍結

特許品市場の成長

主要市場に劣後しない
年平均成長率9.6%の実現

官民協議会等の枠組みを
活用した具体策の検討・実施



European Federation of Pharmaceutical
Industries and Associations



Thank you

